

10月になりました。

この数年時間の感覚が少しおかしく1年前が3カ月まえ・3年前の事が「ずいぶん前」と感じたりして、とても「定尺」に進んでいるとは思えません。原因はなんなのでしょう？

忙しいから？それとも老いて日々の記憶が薄れるから？色々な要因がありそうですが、人が持つ時間感覚は心の状態や環境などに大きく影響されるものだと感じています。

9月19日～21日 レクリエーションスポーツの祭典「日本レクリエーション大会」が日本レクリエーション協会によって福島県全土を使い、行われました。

震災から3年余りがたち日本各地からのご来場者をおむかえできるようになりました。

みなさんのご支援に感謝します。という事からの福島県レクの主催開催でした。

この私も南相馬のダーツ普及の一旦を担っている都合上仲間数名と参加いたしました。

確かにほとんど震災の傷跡はありません。見なれた「がんばろう東北」の横断幕もなく。横断幕は「ご支援ありがとうございます」や「進め復興」の文字に代わっています。

「そうか！がんばったね！良かったよかった！」って本当に言えるのでしょうか？

なんとなく、忘れちゃいけない事あったような気がしませんか？

一見とても平和です。がまだ切実な現状が続いている所もあります。

もう3年？・まだ3年？どちらにせよ そこにはまだ本当の暮らしを奪われ続け

あたかも「今のその生活が・・・日常の様になってしまった人達」がまだ大勢いるのです。

「時が無情にすぎていく感じがする」「3年たった気がしない」

「この時間がいつまで続くのか？」「あのときから時間が止まった」

3年という時を様々な想いを抱きながら過ごしている方がいます。

全ての人類に公平に与えられているのは「時とただ一度の死」です。

その時を共有し「一時楽しい時間だった」と思って頂ければ「私の時」はとても貴重な物へと昇華し、忘れる事のない大切な物になることができるのですが・・・いかがでしたか？

帰路一部通行可能となった常磐道路で帰宅しました。

双葉町・大熊町・など制限区域での「獣注意の看板」「雑草に覆われた民家」「頑丈に閉門されたかつての生活道路」「白い防護服の一团が休む休憩所」「そびえ立つ原発タワー」

それらを見ながら、なぜそうなったのか？

どうしてこうなってしまったのか？これからどうなるのか？頭が混乱してきました。

キラキラと輝く太平洋の美しさを思い出しても

「時が」重く押し掛かってくる恐怖を感じる様な10月の始まりになりました。

